

常に身の回りのハッピーを探すこと、
心を磨き、エネルギーを使うことで
美しさが宿るのです。

KANOE MILLER

カノエ・ミラー

フラ・ダンサー。13歳でクムフラ「マイキ・アイウ・レイク」の元にフラをはじめ。1973年にミス・ハワイに選ばれ、世界中にフラを広めるためにアメリカ各地で披露。1974年からはハワイアンエアライン広報チームに参加し、フラとハワイを宣伝する活動を開始。1977年より、ハワイの伝統ある名門ホテル「ハレクラニ」内「ハウス・ウィズアウト・ア・キー」で踊りはじめ、多くの人々に感動を与え続けている。

ハワイでもっとも伝統と格式を誇る名門ホテル「ハレクラニ」のレストラン「ハウス・ウィズアウト・ア・キー」で35年以上、フラのショーを続けています。ここはハワイ王朝ゆかりの地であり、古い昔からヒーリング・スポットとして知られる神聖な場所。樹齢100年以上と言われるキアヴェの木の下に設けたステージで、世界中からたくさんのお客様をお迎えしています。

美しさを維持するために特別なことはしていませんが、緑茶はよく飲みます。ダイエットや食事制限なども一切していません。食生活では、毎朝フルーツを食べるのが日課ですね。食事はお肉を食べたら野菜をたくさん食べるようにするなど、バランスを考えて、偏らないように心掛けています。女性は就寝前にあれこれお手入れが欠かせませんが、どんなに仕事で疲れていても、お酒を飲んで酔っ払っていても、メイクをきちんとして落とすとして保湿することも忘れません。美容で意識しているのは、それくらいでしょうか。

プロのフラダンサーとして心掛けていることは、振り付けを間違わないこと。そして体のライ

歳を重ねると辛いことに固執せず うまく生きていけるもの。

ンや動きをいかに美しく見せるか、です。フラは古代ハワイの歴史や伝統と深く結びついた神聖な踊りで、ハワイの人々の言葉や心、思いを表現します。歌詞の意味を手の動きで表現するので、間違いなく正確に踊ることが求められる。そして踊りを通じて自分の外面だけでなく、内面も表現し、私自身を知ってもらおうのです。

笑顔で踊っているせいか、時には「いつも幸せそう」「この仕事は楽しいですね」と言われることもあります。確かに、この仕事をしている以上、フラを見ている人々に幸せを与えなければいけません。たとえワンドリンクを飲むわずかな間であろうと、ハッピーな気分にしてこそプロ。エンターテイナーとして、どんな状況にあっても観客を魅了しなければなりません。でも、辛いこと、悲しいこと、悩みがない人なんて、この世にいませんよね。平穩に生活していたって、思いもよらない困難にぶち当たることだってあります。そんな時にでも、平然とまわりに笑顔を振りまいたり、常におおらかで明るくいることは大変。とても多くのエネルギーを使います。反対に、人に対して好意的に振る舞えなかったり、つい嫌な態

度をとってしまふことはとても簡単。ついうっかり意識しないでやってしまうことの方が多いくらいです。

別の職業であれば、幸せを表現したり、美しさを求められたりするとはなかなかないでしょう。でも、私の場合、どうやら毎日しなければならぬようです(笑)。どうしたら常にいい状態でいられるか。フラのダンサーとし

て経験を重ねていくうちに深く考えるようになり、いつからか常にハッピーを探すことを心掛けた。そうするうちに、笑顔が自然と身に付くようになったように思います。生きていけば、仕事や家庭で辛く大変なことがあったり、大切な人との別れがあったりもする。でも人間、上手に歳を重ねていけば、辛いことばかりに固執せず、うまく生きてい

けるようになるもの。日々の中で努力を続け、心を磨き、エネルギーを使うことで、美が宿るのではないのでしょうか。

ハワイに来て、私のフラを見てくださった方へのメッセージは「センス・オブ・ハワイ」。天国のような場所で、ハワイを感じて欲しい。そして私の内から湧き出る春のような幸せに触れてもらえたら、幸せですね。

